



「駅デザインコンセプト」編

東京メトロでは、銀座線全駅のリニューアルを進めるため、2012年12月から、銀座線の魅力向上に寄与する様々なアイデアをお客様から公募するデザインコンペを実施しています。現在、下町エリア(浅草～神田間)の7駅のデザインコンセプトが決定しましたが、他の路線でリニューアルを行っている駅がどのようなデザインコンセプトで計画されているのかを説明します。

東京メトロ 駅デザインガイドラインの策定

2008年6月の副都心線開業により、179駅・営業キロ195.1キロに及びメトロネットワークが整備されました。これをもって、新線建設は終了となり、今後は、既存駅のリニューアルに積極的に取り組み、より一層の安全輸送の確保とサービス向上に努めることとなりました。

東京メトロでは、ご高齢のお客様、障がいをお持ちのお客様、訪日外国人のお客様など『すべてのお客様にやさしく、使いやすい駅』を目指し、快適で魅力ある駅空間をご提供するための駅デザインを考えています。

これまでも南北線や副都心線といった新線建設の際には、一定のコンセプトをもって快適で統一感ある駅デザインの実現を目指し、実現に向けて取り組んできましたが、駅によって異なる時代や様々な環境の下で進められる既存駅のリニューアルにおいても、東京メトロの目指すべき駅を継続的に実現し続けるため、『東京メトロ 駅デザインガイドライン』を2008年6月に策定しました。

デザイン理念

東京メトロの駅のあるべき姿として「東京と人の心を豊かにする場所」をデザイン理念とし、**移動・生活・地域・都市・社会**の5つの視点から、交通拠点としての機能だけにとどまらない駅を目指します。

視点	駅のあるべき姿	具体的な考え方(一部抜粋)
移動	誰もが安心して快適に利用できる駅	・年齢、性別、国籍問わず、高齢者や障害をお持ちのお客様など様々な立場や状況の人が安心して利用できる。 ・あらゆる人がストレスを感じる事のない移動を実現する。
生活	日常の気持ちに変化を与える駅	・生活動線上にあり、通勤、通学、買い物、観光など様々な生活シーンをつなぐ場所である駅。 ・駅が生活と生活の“間(ま)”として、お客様の気持ちを受け入れる空間であること。
地域	地域や街に活力をもたらす駅	・多くのお客様を街に迎え入れ、送り出す場所である駅。 ・地下においても地域、街の魅力を伝え、駅につながる地域や街に活力をもたらしていく。
都市	東京のアイデンティティを発信する駅	・東京の雰囲気や魅力を伝え、都市としてのイメージを高めていく。
社会	持続可能な社会を与える環境に優しい駅	・自然エネルギーの有効活用、メンテナンス性・保守性向上によって環境負荷を軽減していく。

デザインコンセプト

デザイン理念を具現化するため、駅を『出入口(駅舎・出入口・階段)』、『コンコース(通路・広間・改札口)』、『プラットホーム(階段・ホーム)』の3エリアに分け、それぞれのデザインコンセプトと指針を通じて、駅全体として一貫した快適で魅力的な駅空間の実現を図ります。(デザインコンセプト・指針の一部及び具体例)

出入口	  	<p>街の中での存在感と開放感に満ちた空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧迫感、不安感を軽減するデザイン (膜屋根の使用、温かみのある照明等) ・地域に向けて開かれたデザイン (ガラス等で周辺景観に溶け込む外観等)
コンコース	  	<p>地域や街の雰囲気が感じられる居心地の良い空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧迫感のない開放的なデザイン (透明素材を使用して見通しを確保等) ・想いや安らぎを与えるデザイン(パブリックアート等)
プラットホーム	  	<p>安心感を与え、穏やかで落ち着いた空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しが良く安全が確保されたデザイン (透明素材や照明で空間の広がりや明るさを演出等) ・上下移動のストレスを軽減するデザイン (エレベーター、エスカレーターの設定)

事例① 丸ノ内線・東西線・千代田線・半蔵門線大手町駅リニューアル(工事中～2018年完成)

大手町駅は日本有数のビジネス街の中心に位置する当社の代表的な駅の一つとして風格を感じさせる「凜(りん)とした駅」をコンセプトとし、日本的感性を現代的に表現した、大手町にふさわしい“しつらえ”を持つ駅を目指しました。

駅空間を構成する床・壁・柱の仕上材には駅全体を通して共通の素材を用いることで、東京メトロ大手町駅としての統一感を図ります。また、その仕上材を各路線で色調や形状を変化させるとともに要所に路線の持つイメージを演出することで、乗換え時のわかりやすさにも配慮しました。



丸ノ内線プラットフォーム

東京駅など周辺建物で多くみられる煉瓦を用い、歴史と趣ある雰囲気演出



千代田線プラットフォーム

側壁に木目調素材を用い、皇居など都市の中の自然を印象づけ、木の温もりを演出

事例② 丸ノ内線中野新橋駅リニューアル(工事中～2015年完成)

従来の中野新橋駅は、雑然とした街並みに埋没し、街のランドマーク性に欠ける部分がありました。リニューアルにより、出入口建物は“くさび”型のデザインにより、駅と街をつなげる印象を与え、コンコースは街と駅を緩やかにつなぐとともに、街の玄関として落ち着いたある居心地の良い空間とします。



雑然とした街並みに埋没していた従来の中野新橋駅(解体済)



外観



コンコース

駅の入口となる空間は高い天井で開放感を演出するとともに、内部の床や壁には天然石を用いて落ち着いた空間を演出します。

事例③ 千代田線二重橋前駅リニューアル(工事中～2016年完成)

二重橋前駅は、大手町駅や日比谷駅の大きな駅に挟まれていることで希薄となっている存在感を取り戻すため、駅としての顔づくりを中心に考えました。「二重橋」に見られる洗練されたデザイン、緑やお堀といった豊かな自然、皇居や丸の内エリアの「品格」「歴史」「誇り」から、「雅と格式を感じさせる駅」を表現しました。また、プラットフォームには新たに吹抜けを設け、開放感のある空間とします。



現在の二重橋前駅



プラットフォーム

事例④ 千代田線国会議事堂前駅リニューアル(工事中～2015年プラットフォーム完成)

『国会議事堂前駅』の駅名のとおり、国家の象徴である建築物『国会議事堂』をモチーフにしました。プラットフォームの壁には、議場の内装材や装飾材の彫刻等の高度な技術のイメージを現代のプリント技術で表現し、重厚でリズムカルな空間をデザインするとともに、軌道内側壁には国会議事堂の外壁の石の圧倒的な量感を石目調アルミパネルで表現しました。コンコースは、プラットフォーム空間のデザインを連続させることで、改札内～改札外における空間の一体化を図りました。



プラットフォーム



改装中の国会議事堂前駅



国会議事堂



コンコース



これまで。そして、これからも。
もっと うれしい 東京に
<http://tokyometro10th.jp/>

東京を走らせる力

